

八幡浜市学校再編整備検討委員会 議事要旨

(第4回会議) 【公開用】

日時：平成28年9月29日(木) 19:00～20:40

場所：保内庁舎3階 第3会議室

欠席委員：日出山委員、脇水委員、西山委員、鈴木委員

事務局：教育長・教育指導主幹・学校教育課長・同補佐

○会議次第

1. 開 会
2. 議 事
 - (1) 幼稚園の現状と課題について
 - (2) 中間報告(案)について
 - (3) 幼・小・中学校の再編整備に係る具体的な方策について
 - (4) 次回会議の日程及び議題について
3. 閉 会

◎会議概要

○開会(19時00分)

○議事

(委員長)

- ・ 本日の会議録の署名人を松本委員と井上委員にお願いします。
- (1) 幼稚園の現状と課題について
- (2) 中間報告(案)について
- (3) 幼・小・中学校の再編整備に係る具体的な方策について
(事務局からの説明)
 - ・ 幼稚園の現状と課題について。(資料4-1～4-3)
- (4) 次回会議の日程及び議題について
 - ・ 次回は、答申書(中間報告)〈案〉及び具体的な学校再編について引き続き協議する。
 - ・ 次回、第5回会議を10月27日(木)午後7時から保内庁舎第3会議室で行うことを決定する。

○閉会(20時40分)

□ 委員発言(同種の発言はひとつに要約しています)

- (1) 幼稚園の現状と課題について

- ・ 神山幼稚園は、自動車に通園している園児がほとんどで、駐車場の確保が難しい状況である。行事の時は駐車場が不足するため、神山小学校や公民館の駐車場を利用させてもらっている。普段は、神山小学校の空きスペースに駐車していただいているが、送迎時間が集中するため駐車スペースが不足している。
- ・ 3歳児を受け入れれば園児数は増加するが、私立幼稚園との兼ね合いもあるため、4・5歳児での保育となっている。
- ・ 近隣の公立幼稚園では、預かり保育や3歳児保育をしている園もある。

(2) 中間報告（案）について

- ・ 小規模校のメリット、デメリットについてまとめてあるが、文末表記をメリットは「できる」または「行える」、デメリットは「難しい」という表現にした方がいいのではないか。
 - ・ 校区外通学についての考えは、今後、他市に例があるような部活動を理由とした校区外通学を認めることを視野に入れた記述なのか確認したい。
- 学校再編を考えていく中で、部活動を理由とした校区外通学を認めるかについてもあわせて考えていきたいと思っている。
- ・ 部活動を理由とした校区外通学を認める場合は、指定校に自分が入部したい部活動がない場合に限って認める等、安易な自己都合の理由での校区外通学とならないよう慎重に考えるべきだと思う。
 - ・ 報告書に保育所統合計画について記載することに違和感がある。保育所の統合については、別に検討されているものであり、この検討委員会で協議・検討しているものではないため、この報告書に記載する必要はないのではないだろうか。
- この内容については、すでに公表されているものであるため、記載する必要があると考えた。市議会協議会で提案されたもので公になっており、「学校再編整備計画とあわせて今後学校教育課とのすり合わせが必要になってくる。」と示されている。
- ・ 「学校配置の在り方」中の考え方の前提についての部分が、前提条件を述べているように思う。考え方の前提については、次項目中に記述が見受けられるため、再度整理していただきたい。
 - ・ この検討委員会では、複式学級を有する小学校及び極端に小規模化している中学校の再編成について検討する必要があるし、この検討会の考え方の前提にもなってくるし、おのずとどの学校を優先して考えるべきか答えが出てくると思う。現在の小学校を利用した総合的な児童福祉施設についても、この検討委員会で市の計画をどう考えるのか、また、どのような理由で検討結果に至ったのかについても答申する必要があると思う。
 - ・ 学校跡地の活用について、交流人口の増加を目的とした活用も考えられるため、「交流人口の増加」という言葉を追加してほしい。

- (3) 幼・小・中学校の再編整備に係る具体的な方策について
〔各委員が、具体的な学校再編について自由に意見を述べた。〕

上記のとおり八幡浜市学校再編整備検討委員会（第4回）の議事経過及びその結果を明確にするためにこの議事要旨を作成し、出席者2人が署名する。

平成28年9月29日

署名人

署名人